

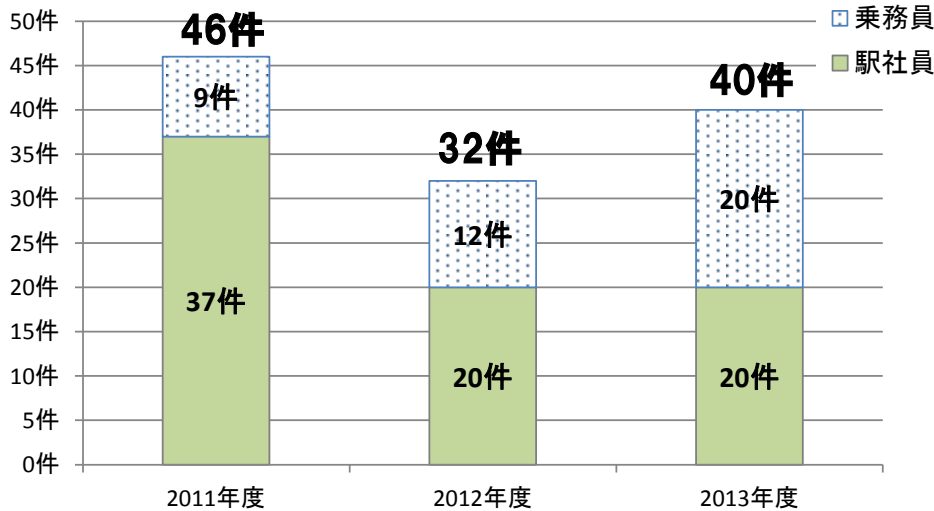
2013年度「社員に対する暴力行為」について

2013年度JR東日本八王子支社における「社員に対する暴力行為」は40件発生しており、ホーム（14件）および改札（12件）での発生が全体の約7割を占めています。また、7割近くが19時以降の夜間に発生しており、加害者の約4割が飲酒をしていました。

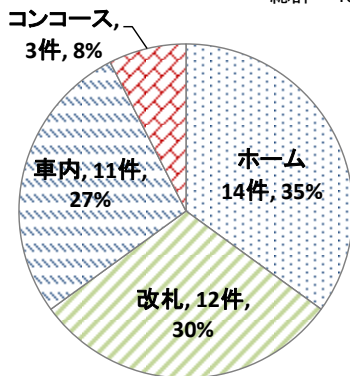
事例としては、催し物開催により駅構内が大変混雑し、危険防止のため階段にロープを張り入場規制を行ったところ、社員の説明に腹をたて左頬を殴った悪質なケースなどがありました。なお、当社では社員に対する暴力行為を防止するためにガードマンの配置や防犯カメラなどを設置するとともに、トラブルが発生した際には早めに警察官を要請することとしています。また、暴力行為が発生した際には被害届を提出するなど、毅然とした対応をしています。

1. 発生状況

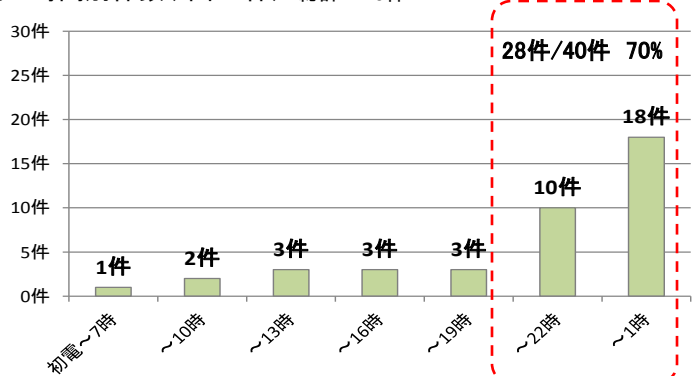
(1) 発生件数の年度別推移(単位:件)



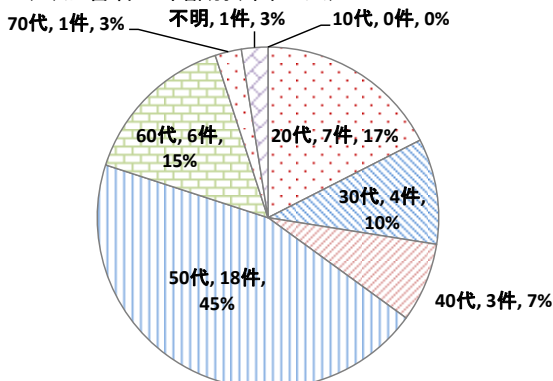
(2) 発生場所別件数(単位:件) 総計=40件



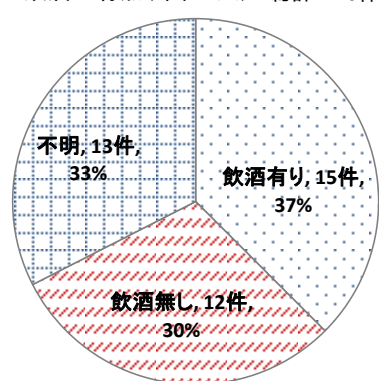
(3) 発生時間別件数(単位:件) 総計=40件



(4) 加害者の年齢別(単位:人) 総計=40件



(5) 加害者の飲酒の有無(単位:人) 総計=40件



2. 主な事例

(1) 府中本町駅(駅助役・男性)

5月26日(日) 18時10分 50代男性 飲酒有り
催し物開催による混雑のため、南武線上りホームが大変混雑し危険な状況であったため、ロープ規制し状況説明を行っていたところ「同じことしか言えないのか」といって突然左頬を2回殴った。(左頬打撲 全治7日間)

(2) 三鷹駅(駅社員・男性)

7月3日(水) 8時18分 20代男性 飲酒なし
1番線停車中の列車が一旦ドア閉め扱いのため車内点検を行っていたところ、1号車に寝ている旅客がいたため声をかけたところ平手で右頬を殴られた。(右頬打撲 全治7日間)

(3) 八王子駅(駅社員・男性)

12月8日(水) 0時20分 50代男性 飲酒あり
横浜線の最終電車について尋ねられ、既に運転終了していることを案内したところ、臀部(尻)を蹴られた。(臀部打撲 全治7日間)

(4) 中央快速線車内(車掌・男性)

12月18日(水) 22時20分 50代男性 飲酒有り
かいじ121号において車内改札中に暴力行為を受けた(左腰部打撲 全治4日間)

(5) 吉祥寺駅(駅社員・男性)

1月20日(月) 17時08分 20代女性 飲酒なし
自動改札の扉が閉まりそのまま通り過ぎた旅客に乗車券類の確認をしようとしたところ「やめてください」と拒否し激怒した上で社員の胸ぐらを掴み、足を蹴り、帽子をはたかれた。(顔面打撲、両上腕部挫傷、頸部挫傷 全治7日間)

(6) 国分寺駅(駅社員・男性)

2月25日(火) 21時56分 50代男性 飲酒有り
旅客が有人改札口に来て「改札を通れないのはどういうことか」と語気を荒げてきた。状況確認したところ西武線改札口と間違えて入場し、再び出場しようとしてできなかったことが判明。係員がIC処理を行い、西武線改札口に案内したところいきなり左頬を殴られた。(左頬打撲 全治7日間)

(7) 高尾駅(車掌・男性)

3月20日(木) 10時32分 60代男性 飲酒不明
高尾発小淵沢行き普通列車の発車間際、発車ベルを扱っていたところ暴力行為を受けた。(右膝打撲 全治7日間)

3. 当社としての主な取組み

○ 駅構内における粗暴事犯防止対策の実施

<内容> 警視庁と連携し駅構内(改札口・ホーム等)の巡回を実施

<期間> 2013年12月13日(金)~30日(月)

○ 首都圏の私鉄、警察とタイアップした「暴力行為防止ポスター『STOP暴力』」を作成し、駅構内や車内へ掲出しました。

<目的> 駅や車内におけるお客さま同士のトラブルや、駅員・乗務員等への暴力行為が多発しているため。

<期間> 夏季：2013年7月12日(金)~9月13日(金)

冬季：2013年12月9日(月)~2014年2月8日(土)

○ ガードマンによる駅の巡回

○ 甲府地区では山梨県警の指導をいただき、「防犯講習会」を行いました。

日時 2013年7月29日(月)~7月30日(火)

内容 山梨県警本部警務部教養課術科指導員による実技を主体とした講習会

○ 当社では、社員への暴力行為に対して被害届を提出するなど、毅然とした対応をとることとしています。



<夏季ポスター>



<冬季ポスター>



<甲府地区 防犯講習会>